

プログラム

第1会場(6階 ホール)

【開会の挨拶】

10:00 大会長 廣橋 一裕(大阪市立大学卒後医学教育学)

【シンポジウム】

10:10~11:40 座長: 森村 美奈(大阪市立大学卒後医学教育学)
松本 美知子(大阪市立大学医学部附属病院)

「様々な医療現場でのコミュニケーションとシミュレーション」

- ・コミュニケーションは『スキル』なのか? ~医学生がした行動と医師になって思う事~
吉田 全宏(大阪市立大学血液腫瘍制御学)
- ・ジェネラリスト看護師への看護倫理教育における現状と課題
鶴田 理恵(大阪市立大学医学部附属病院 がん看護専門看護師)
- ・PT教育におけるOSCEの必要性
金田 麻(園田病院リハビリテーション科 理学療法士)
- ・多職種協働教育に活用するスキルスラボ
平井 みどり(神戸大学医学部附属病院 教授・薬剤部長)

【ランチョンセミナー】

12:00~13:00 座長: 廣橋 一裕(大阪市立大学卒後医学教育学 教授)

「フィジカルアセスメント研修をどう進めるべきか

~研修活動を13年間続けてきたことから学んだこと~

山内 豊明(名古屋大学大学院医学系研究科臨床アセスメント学分野 教授)

【シンポジウム】

14:00~15:30 座長: 小田 康友(佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター)
首藤 太一(大阪市立大学卒後医学教育学)

「スキルスラボ運営の問題点と対策」

- ・京大病院におけるスキルスラボの現状と対策
内藤 知佐子(京大病院総合臨床教育・研修センター)
- ・宮崎大学におけるスキルスラボ活性化への”仕掛け”
小松 弘幸(宮崎大学医学教育改革推進センター)
- ・本学SSC運営の工夫
奥 幸子(大阪市立大学スキルスシミュレーションセンター)
- ・シミュレーションの経済(的)効果をシミュレーションする
安川 文朗(熊本大学大学院社会文化科学研究科)

第2会場(6階 研修室)

(発表時間5分、質疑応答2分)

【一般口演】「シミュレーターと教育システムの開発」

10:10~11:06 座長: 石丸 章宏(金沢医科大学クリニカル・シミュレーション・センター)

[01] 技能トレーニング用採血シミュレーターの開発 第一報

土井 範子(東邦大学医学部教育開発室)

[02] シミュレータを用いた留置針による点滴注射技術習得効果の検討

川端 京子(大阪市立大学大学院看護学研究科)

[03] 胸部立体構造を学ぶための解剖学のシミュレーション教育

長戸 康和(東海大学医学部)

[04] iPod touch および iPad アプリを利用したシミュレータ機能拡張の利用例と提案

浅田 義和(自治医科大学メディカルシミュレーションセンター)

[05] 医療用カテーテル機器評価シミュレーターの開発

森田 寛(協仁会小松病院心臓血管科、関西医科大学内科学第二講座)

[06] 模擬患者参加の医療面接のシミュレーション - メイクアップによる迫真性 -

阿曾 亮子(日本医科大学教育推進室)

[07] AHA風G2010 - BLS教育用ビデオの開発

安井 清孝(慶應義塾大学医学部医学教育統轄センター)

[08] 医療人教育への双方向性ITデバイス(ARS)活用の試み

諸井 陽子(福島県立医科大学医療人育成・支援センター)

【一般口演】「研修医トレーニングとラボ運営の工夫」

11:06~11:48 座長: 高橋 優三(岐阜大学人間医工学研究開発センター)

[09] 新研修医オリエンテーションにおける医療シミュレーション教育の有用性

有村 保次(宮崎大学医学部附属病院卒後臨床研修センター)

[10] 高齢者・障害者疑似体験を新研修医オリエンテーション時に行う意義

辻野 美帆(社会保険中京病院看護局、同臨床研修センター)

[11] 臨床研修1年次生を対象とした中心静脈カテーテル研修

吉村 明修(日本医科大学教育推進室)

[12] 医学生のシミュレーション施設利用状況

安田 幸雄(金沢医科大学クリニカルシミュレーションセンター)

[13] 聖路加国際病院におけるシミュレーショントレーニングの今後の展望

小田 薫(聖路加国際病院 教育・研究センター教育研修部)

[14] 東北大学クリニカルスキルスラボの利用動向からみた今後の課題

門馬 靖武(東北大学病院卒後研修センター)

【一般口演】「看護師・学生に対するシミュレーション教育」

14:00～14:56 座長：吉村 明修（日本医科大学教育推進室）

[15] 看護学生に対する成人看護学における一次救命処置の教育方法の検討

吉村 弥須子（森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科）

[16] 基礎看護スキルの習得を目的としたシミュレーション教育プログラム

水口 由美（慶應義塾大学病院）

[17] シミュレーターを利用した新人看護職員研修の効果

吉本 千鶴（大阪市立大学医学部附属病院）

[18] 看護臨床判断力向上のための段階的なシミュレーション教育の試み（第1報）

加藤 恵里子（慶應義塾大学病院）

[19] 救急看護実践能力向上にシミュレーション研修を取り入れて

松本 美知子（大阪市立大学医学部附属病院）

[20] 新人看護職員シミュレーション研修の有効性の検討

吉川 由香里（九州大学病院）

[21] 静脈注射実施に向けての指導者実技研修

中谷 喜美子（大阪市立大学医学部附属病院）

[22] 看護師を対象としたシナリオシミュレーションによるフィジカル・アセスメントコースの開発

阿部 幸恵（琉球大学医学部附属病院）

【一般口演】「シミュレーション医療教育の拡がり」

14:56～15:45 座長：阿部 幸恵（琉球大学医学部附属病院）

[23] メソヂスト病院シミュレーションセンターの視察報告

高橋 優三（岐阜大学人間医工学研究開発センター五感コミュニケーション部門）

[24] シミュレーション医療教育から学んだこと

スキルズシミュレーションセンター（SSC）でICLSに参加して

吉川 有葵（森ノ宮医療大学保健医療学部看護学科）

[25] 臨床実習前医学教育でスキルトレーナー（看護師）が継続的に行う

基本的臨床技能訓練プログラムの効果

高島 利（佐賀大学医学部看護学科）

[26] 臨床実習での「経験がない」学習項目の特徴

菅原 亜紀子（福島県立医科大学医療人育成・支援センター）

[27] リハビリテーションスタッフのための喀痰吸引シミュレーション訓練の効果

石丸 章宏（金沢医科大学クリニカル・シミュレーション・センター）

[28] シミュレーション教育に対する臨床工学技士の関わり

中山 雅俊（群馬大学医学部附属病院 材料部 ME 機器管理部門）

[29] 手術室における緊急事態を想定したシミュレーショントレーニングの試み

佐藤 仁（横浜市立大学附属病院生体制御・麻酔科）

【閉会の挨拶】

15:50

大会実行委員長 首藤 太一（大阪市立大学卒後医学教育学）

第3会場（8階 スキルスシミュレーションセンター）

【企業展示・プレゼンテーション】

10：00～13：00 展示

13：10～13：40 プレゼンテーション 進行：津村 圭（大阪市立大学卒後医学教育学）

1. アイ・エム・アイ株式会社
2. ガデリウス株式会社
3. テルモ株式会社
4. 日本ライトサービス株式会社
5. レールダルメディカルジャパン株式会社

【ワークショップ】

15：00～16：00 大阪市立大学医学部ライフサポートクラブによる AED 講習会

進行：島田 健永（大阪市立大学卒後医学教育学）

【懇親会】

16：30～